

入学前課題（3－①）幼児体育部門

幼児教育を学ぶ皆様にとってこれから重要なことは、演技者ではなく指導者・支援者の知識が必要となります。幼児体育では「できる・できない」ではなく「楽しむ・やりたくなる」をモットーに指導者を育成するカリキュラムを実施して行きます。

文部科学省幼児運動指針によると「幼児期に適切な運動をすると、丈夫でバランスのとれた体を育みやすくなる。特に運動習慣を身に付けると、身体の諸機能における発達が促されることにより、生涯にわたる健康的で活動的な生活習慣の形成にも役立つ可能性が高く、肥満や痩身を防ぐ効果もあり、幼児期だけでなく、成人後も生活習慣病になる危険性は低くなると考えられる」と記載されており、幼児体育は幼児教育においてとても重要な活動です。

入学前教育として、以下の課題に取り組んでください。皆様に会える日を楽しみしています。

幼児体育担当教員

課題 1

保育園および幼稚園で行われる身体活動について以下の内容を調べましょう。

（種目名と実施方法）

- ① マットを使った運動遊び「4種目」
- ② 鉄棒を使った運動遊び「3種目」
- ③ 跳び箱を使った運動遊び「2種目」

課題 2

「身体活動」や「運動遊び」は未就学児の発達にどのような効果があるか調べましょう。

（各項目 100 文字以上）

- ① 身体面での効果
- ② 心理面での効果
- ③ 発達・成長面での効果

課題 3

子ども達は身体を使って遊ぶ事が大好きです、しかし運動となると・・・。「運動嫌い」は何が原因で発生すると思いますか？ 自分の経験等を踏まえて理由を考えてください。(300文字以上)